

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アーバンヴィラ四条大宮計画	階数	地上7階
建設地	京都府京都市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	38人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年12月 予定	評価の実施日	2010年4月20日
敷地面積	559㎡	作成者	
建築面積	394㎡	確認日	2010年4月22日
延床面積	2,075㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.4

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	使用材料を減らすことにより、環境的・経済的コストを減らすようにした。	その他 無し
<b>Q1 室内環境</b>	高齢者施設である為、各室、共用部においての温度の差を減らすようにした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> まちなみに配慮した外観とした。
<b>LR1 エネルギー</b>	熱負荷の抑制に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 大気汚染の防止に配慮した。
<b>Q2 サービス性能</b>	高齢者施設である為、バリアフリーに配慮した。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	可能な限り、リサイクル材料を利用することに配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される